

且交渉他、條件ハ店主側ニ於テ容認スルモ解雇者八名中五
名ノ復職ハ肯ニ難シト拒絶論争シタルモ結局決裂

(2) 三月二十二日、店主側葛西猛山名文雄、争議團側岡新本部執行
委員深田吟治郎元後業負岡田吾作全榮模代表トナリ午前十
時ヨリ店主方ニ於テ會見セルカ三名ノ復職問題ニ関シ折衝
セルカ何レモ譲ラス更ニ午後二時三十分ヨリ再會見争議團
側三名ノ解雇ヲ容認シタルモ解雇手當争議費用ノ嘆願ニ入
ルマ店主側ハ具ノ金額ヲ明示セサル為一應會見ヲ折切レリ
右及中(道)報候也

争議第一二。報

昭和六年三月二十一日

争議委員 丸山鶴吉

警大臣 安達謙藏殿
社会局長官 吉田茂殿

讀賣新本部出張所争議争議ニ関スル件 (第三報) 三月二十七日

要旨……………前日音響記者、期會ニテ應答場セシクは委員ノ不正事實暴露シテ再燃ス
標記争議争議前報(三月二十三日争議第一。五。報)後ノ状況左
記ノ通ニ指上及中(道)報候也

一、争議者側

(1) 三月二十三日争議團員四名ハ讀賣新聞顧問辯護士長島明次